

協進レター76号

平成24年4月25日
新年度がスタートして早一ヶ月が過ぎようとしています。

遅かった桜前線もすでに東北地方に進んで、あれだけの被害と今なお残る傷跡の上に、今年も桜の花は開花しています。冬の寒さに耐えた桜が、競って一斉に咲き誇りながら、日本中を桜色に染めていく華やかな季節です。

桜の花には「休眠打破」が必要だということを知っている人は多いと思います。一定期間、低温にさらされることによって「休眠」から一気にはじけるように目覚めるのです。

この季節は桜ばかりではなく、人も開花に向かって動き始めます。新入生や新入社員、我が社もそうですが新年度のスタート、役所のほとんどもそうですよね。新たな気持ちで第一歩を踏み出す時であり、つぼみから開花へ、静から動へと、大きく変わる季節です。皆さんも、そんな気持ちになっていますか。

車の発電機の部品に「ブラッシュアップ」という整備があります。英語で、「磨き上げる。再勉強。鈍った腕や技を磨き直す。一定のレベルにあるものをさらに磨きあげる。」といった、ニュアンスがあります。

まさに桜の開花のように、ブラッシュアップの季節です。

そのブラッシュアップに必要なキーワードが「何のために」です。これが不明確であったり不明瞭だと、ブラッシュアップはできません。

我が社の「何のために」は、クレドに定めています。「何のために」を達成するため

に、手法として安心挨拶や行動指針を示しています。

さらに肝心なのがベクトル（量と方向）です。ここがハッキリしていると、会社の結束力が生まれます。

私たちは2人いれば2倍の力が、5人いれば5倍の力が発揮できると錯覚しています。物であれば $1 + 1 = 2$ になりますが、人の行うことは違います。1人が逆の方向を向いていれば、その合わせた力は $(-)1 + 1 = 0$ です。それぞれの方向がバラバラであるならばその集団は崩壊します。「何のために」が不明確であったり不明瞭だと、それぞれ自分の都合のいい解釈をするからです。

逆にやりようによっては、 $1 + 1$ が2以上の力を発揮できる可能性を秘めているのが人間です。そのための要となるのが「何のために」という目的を全員で共有することです。

協進交通の「何のために」は、『サービスの視点に立ち、お客様満足ではなくお客様の記憶に残る、お客様に『感動・感謝・感激』を覚えていただくサービスの提供を目指し続けることです。そして、「お客様だけでなく、お取引先、社員及びその家族等関係する人々全ての成幸を求め、地域社会のインフラとして必要な企業になることを目指し続けること』です。

この「何のために」に向かって、シフトで稼働しています。売上を創りだしています。事故撲滅に努めています。エコドライブを実践しています。安心挨拶や行動指針は、これを実現させるための基本中の基本の手法の一つです。

この時期に、今一度私たちの働きの目的を明確に共有し、新たな気持ちで「静」から「動」への勇躍をしていきましょう。